



ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 自分で出来ることを喜び、身の回りのことを意欲的にしようとする。 冬の感染症や気温の変化に留意し、一人一人が健康で快適に過ごせるようにする。 寒さに負けず、戸外で保育者や友達と思いい切り体を動かして遊ぶ。 	行事	避難訓練 身体測定	長時間保育	<ul style="list-style-type: none"> 疲れが出ないよう、ゆったりと好きな遊びを楽しめるように配慮する。 子どもの様子を保護者に丁寧に伝えていく。 	家庭連携	<ul style="list-style-type: none"> 感染症が流行しやすい時期なので、健康状態を細やかに伝え合う。 園での発症状況を伝え、予防と対応を共通理解していく。 	自己評価	感染症予防と歯みがきが来月より始まる為、外遊び後にブクブクうがいをする事を取り入れた。やり方を見せると上手に出来ている子が多かった。鼻水や咳が出ている子が多いので、体調に気を付けて見ていくようにしたい。
今月の内容(養護・教育)		環境構成			配慮事項		取り組みの状況と保育士の振り返り		
<ul style="list-style-type: none"> 衣服の前後や裏表、靴の左右に気を付けながら着たり、履いたりする。上着の着脱を自分でしようとする。 手洗い、ぶくぶくうがい、鼻をかむ等を自分でしようとする。 戸外で保育者や友達と、思いい切り体を動かして遊ぶ。体を動かすことで体が温まることを知る。 いろんな食材の味を知る。楽しい雰囲気ですごすようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 保育室内の温度や湿度、換気をこまめにする等感染症の予防に努める。 ティッシュを子どもの手の届く所に置き自分で拭けるようにする。うがい用コップの位置を決め、自分で取れるようにする。 戸外に行く際は、ゆっくり取り組めるよう時間に余裕を持って進めるようにする。 			<ul style="list-style-type: none"> 脱ぎ着しにくそうなときは具体的に言葉をかけ、一人ひとりの様子に合わせて見守ったりさりげなく援助したりする。 鼻水が出ているときには声をかけ、自分で拭いてみるよう促す。ぶくぶくうがいのやり方を見本を見せながらわかりやすく伝えていく。手洗いも再度洗い方を確認ししっかり洗えるようにする。 寒さで体が硬くなり転倒やけがをしやすくなる為、準備運動をしたりし、体を温めてから遊ぶようにする。 		外遊びの準備を自分でやろうとする子が多く、上着を着ようとしたりチャックを閉めようと頑張っている姿が多く見られる。寒い日が多かったが、戸外で元気いっぱい走り回ったり体をたくさん動かして遊ぶことが出来た。前もって声を掛けておくことで、少しずつ何をしないといけないのかを考えて行動できるようになってきているので、見守りつつ様子を見ながら適切な援助をしていきたい。		